

2017年3月30日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

1984年ロサンゼルスオリンピックでバレーボール女子 銅メダル獲得に貢献 現役引退後は、教育、ビジネス、スポーツなど幅広い分野で活躍

三屋 裕子 氏

スペシャルインタビュー 公開

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する、笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区 理事長：小野清子 以下：SSF）では、スポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考える機会として、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々へのインタビュー記事「スポーツ歴史の検証」（<http://www.ssf.or.jp/history/tabid/811/Default.aspx>）を連載しています。

次世代のスポーツ振興の架け橋をテーマに今回ご登場いただくのは、大型センタープレーヤーとして高校時代から将来を嘱望され、1984年ロサンゼルスオリンピックにおいて銅メダル獲得に貢献した三屋裕子さんです。

現役引退後は、「教育」「ビジネス」「スポーツ」と多岐にわたって活躍。2015年に日本バスケットボール協会副会長に就任し、2016年6月からは同会長を務められています。豊富な知識と経験、そして広い視野を持つ三屋さんに、ご自身の経験に基づいた「オリンピックを目指すことの意義」や、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてすべきことについてお話をうかがいました。

笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』 第60回 スポーツの存在意義、レガシーは「地域貢献」 三屋 裕子 氏

スポーツ歴史の検証 で検索ください！

【URL】 <http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdid/251/Default.aspx>

【主な内容】 高校入学後に起きた二つの「想定外」／恩師への反発から生まれたオリンピックへの思い／「メダルなしでは帰国できない」が唯一のモチベーションだった3位決定戦／「地域貢献」にこそあるスポーツの未来 など



三屋 裕子（みつや ゆうこ）氏

元バレーボール女子日本代表選手として、1984年ロサンゼルスオリンピックに出場し銅メダルを獲得。現在は、日本バレーボール協会評議員、日本バスケットボール協会会長、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問など多数の要職を務めるほか、「スポーツ」「健康」をテーマにした講演やスポーツの指導、教育者・経営者としての経験を活用した人材育成の活動も行う。

インタビュアー 山本 浩（やまもと ひろし）氏

1953年生まれ。スポーツ評論家。NHK在職中はエグゼクティブアナウンサー、解説委員（スポーツ・体育分野専門）として活動。現在は法政大学スポーツ健康学部教授を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】 公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】 スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】 株式会社アシックス